

# ぬかづけ 日記 連載③

白糠町のPRのことばかり考えるわたし  
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ  
北田 純子



## Profile

1973年11月23日生まれ。  
千葉県千葉市出身  
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。  
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

## ■北田純子ブログ

「シラスカAtoZ」  
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



驚きの森のブルーベリーソフト。夏ならではのお楽しみです。

## 一対一のコミュニケーションで 本町ふるさと納税大躍進

8月5日に総務省が2019年度のふるさと納税全国寄付額を発表しました。

白糠町は前年2018年度の21位から、なんと4位に上昇。道内では、紋別市に次ぐ第2位。海産物で全国的に有名な根室市を抜き、さらに市を除く町村では全国1位というすばらしい結果でした。ひとえに生産者の皆さま、そして寄付者対応・PRを担当した、役場ふるさと納税推進係の皆さまのご尽力に尽きると感じます。

この発表の2日後となる8月7日にふるさと納税事業者の皆さまが役場に集まり、勉強会が開催さ

れました。ふるさと納税推進係がさまざまな情報を集め集計・分析し、資料を作成。進行をつとめ、過去の納税額の推移や、ECサイトの傾向と対策、寄付者の皆さまの満足度向上のためのさまざまな取り組みなどを、事業者の皆さまと共有しました。

私も話を聞かせていただき、なかでも素晴らしいと感じたのは、「寄付者の方とのパーソナルなコミュニケーション」です。特に定期的に寄付者へメールで情報を流している、ふるさと納税推進係のWさんがすてきだと感じました。普通であれば寄付者の方は「大勢のなかの一人」となってしまうのですが、Wさんはメールのテンプレートを使わず、町で起きた

できごとや返礼品にまつわる情報を、ご自身の体験や日常、心情とともにつづり、寄付者お一人お一人に手紙を書くようにメールを作成していらっしやいます。本町への寄付者は全国に非常に多数いらっしゃると思います。ですから、その労力も大変なものです。しかしそのおかげもあり、本町のふるさと納税はリピーター率も非常に高く、メールのやりとりを通じてWさんを応援するコメントも数多く寄せられるそうです。

「大勢の中の一人ではなく、ほかでもないたった一人のあなたへ」そんなコミュニケーションも、白糠町のふるさと納税の躍進に、大きな影響を与えているのだと感じました。



ふるさと納税勉強会の様子。皆さま熱心に聞き入っていらっしやいました。

## おもしろかったあの3冊

- 「樹木たちの知られざる生活」 P・ヴォールレーベン
  - 「女の園の星」 和山やま
  - 「不味い！」 小泉武夫
- 特に「樹木たちの」は素晴らしいです。自然に興味のある方は、ぜひ一読を。